

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(令和4年度施策・実施事業分)

令和5年10月

宇陀市教育委員会

はじめに

宇陀市教育委員会では、教育行政のさらなる充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、ここに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」（令和4年度施策・実施事業分）をまとめました。令和4年度に執行した教育委員会の主な事業を宇陀市教育大綱に基づく基本方針の項目ごとに分類し、目標の達成状況・進捗状況について教育行政点検評価支援員の意見を踏まえながら点検・評価しております。本報告書については、市議会に提出いたします。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

宇陀市教育委員会

教育長	田淵	泰央
委員	峯畑	忠郎
委員	吉川	壽一
委員	山本	眞二
委員	鈴木	俊司

1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市教育大綱」及び年度ごとの「宇陀市学校教育の指導方針」、「生涯学習振興指針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。その具体的な取組に関して目標達成状況等を踏まえた点検・評価を行いました。

今回の点検・評価の対象は令和4年度に実施したうちの主な施策・事業です。

2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について学識経験者2人に点検評価支援員を委嘱し、教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただきました。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員の専門的で中立的な指摘を総合的かつ客観的に捉え、また、真摯に受け止め、職員の意識改革につなげてまいります。

■支援員の氏名

田中 三彦 氏 (宇陀市在住)

樫 啓典 氏 (宇陀市在住)

■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

令和5年7月5日(水) 午前9時～午後5時

[教育委員会が行う事業の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見]

3 教育委員会の主な運営・活動状況

総合教育会議において、宇陀市の目指すべき教育を「宇陀市教育大綱」としてまとめ、この大綱に基づく4つの基本目標とそれらを推進するための23項目の基本方針に則って課題に取り組んでいます。

本年度も、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4並びに第14条及び第21条に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行いたしました。

- ・教育委員会の会議
- ・総合教育会議
- ・教育方針及び教育計画の策定
- ・教育に係る調査及び統計
- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止
- ・事務局及び教育機関の職員の人事
- ・児童生徒の就学
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導
- ・教科書その他の教材の取扱い
- ・事務局及び教育機関の職員の服務及び研修
- ・学校施設及び設備の整備
- ・教職員に対する指導助言
- ・学校保健
- ・学校給食
- ・生涯学習の振興に係る施設の企画及び調整
- ・社会教育の基本計画及び総合調整
- ・社会教育に関する施設の設置及び管理
- ・社会教育団体の指導育成
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館事業
- ・文化及び芸能の振興
- ・スポーツ・レクリエーションの指導奨励
- ・文化財の保護、活用及び啓発
- ・文化財の指定、調査、研究、記録及び資料の作成 等

(1) 総合教育会議の開催

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、1回開催されました。

■令和4年度第1回宇陀市総合教育会議（令和4年7月21日）

- ・宇陀市、曾爾村、御杖村、奈良県立宇陀高等学校、奈良県教育委員会、奈良教育大学の包括連携協定について
- ・宇陀市立学校の適正化に関する基本的な考え方について

(2) 教育委員会の会議の開催

教育委員会の会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、令和4年度は定例会12回

の会議を開催しました。

教育委員会の会議は原則公開しており、令和4年度の傍聴者は1名でした。

(3) 教育委員会審議案件等の実績

教育委員会の会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議を行いました。

さらに、各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針の下で、一層事業が充実、推進されたと考えています。

〈令和4年度の審議案件〉

■4月定例教育委員会（4月25日）

- ・宇陀市教育支援委員会委員及び調査員の委嘱又は任命について
- ・令和3年度宇陀市教育支援委員会（追加分）の審議結果について

■5月定例教育委員会（5月31日）

- ・令和4年度宇陀市教育行政点検評価支援員の選任について
- ・宇陀市修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の一部改正について

■6月定例教育委員会（6月27日）

- ・宇陀市立学校給食センター運営協議会委員の委嘱について
- ・宇陀市学校適正化基本方針について
- ・令和4年度宇陀市教育支援委員会の審議結果について

■7月定例教育委員会（7月20日）

※審議案件はなし

■8月定例教育委員会（8月29日）

- ・令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について

■9月定例教育委員会（9月28日）

- ・令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について

■10月定例教育委員会（10月24日）

- ・宇陀私立学校等給食費等支援金交付要綱の制定について

- 11 月定例教育委員会（11 月 30 日）
 - ・ 宇陀市教育支援委員会委員の任命について（後任）
 - ・ 令和 4 年度宇陀市教育支援委員会の審議結果について
- 12 月定例教育委員会（12 月 27 日）
 - ・ 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
- 1 月定例教育委員会（1 月 30 日）
 - ・ 宇陀市就学援助に関する要綱及び宇陀市教育センター事業実施要綱の一部改正について
 - ・ 宇陀市特別支援教育就学奨励費支給に関する要綱の一部改正について
 - ・ 宇陀市教育支援委員会委員の任命について（後任）
- 2 月定例教育委員会（2 月 22 日）
 - ・ 宇陀市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について
 - ・ 令和 4 年度宇陀市教育支援委員会（追加分）の審議結果について
- 3 月定例教育委員会（3 月 24 日）
 - ・ 宇陀市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
 - ・ 宇陀市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
 - ・ 宇陀市学校教育の指導方針について
 - ・ 宇陀市文化会館使用料の減免に関する要綱の改正について

(4) 教育委員会の会議以外の活動

■ 学校訪問

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程編成上の特色や創意工夫点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市立学校の管理運営に関する規則」に基づく次に示す各種表簿を点検しました。

<各種表簿>

学校日誌・出勤簿・旅行命令簿・教育計画書（教育課程）
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検を行い、児童生徒等の学習活動・授業の様子を参観しました。

その後、改善点について意見交換を行うとともに、教育の課題を探り、学校長等に対し指導助言を行いました。

奈良県教育委員会が定める「奈良の学び推進プラン」ならびに「宇陀市学

校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、指導主事及び事務局職員により、次に示す観点で実態を調査しました。

＜実態把握の観点＞

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策
学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）
特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題
職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開
家庭や地域との連携等

令和4年度は、5月から6月にかけて、小学校6校、中学校4校、幼稚園2園、こども園3園、保育園2園を訪問しました。

〈令和4年度の学校訪問〉

◇榛原北保育園、榛原東幼稚園	5月13日
◇菟田野小学校、菟田野中学校	5月17日
◇室生こども園、室生小学校	5月18日
◇大宇陀小学校、大宇陀中学校	5月23日
◇菟田野こども園、大宇陀こども園	5月25日
◇榛原幼稚園、榛原小学校	5月26日
◇しらゆり保育園、榛原西小学校、室生中学校	5月31日
◇榛原東小学校、榛原中学校	6月3日

■教育委員・教育長研修等

以下の研修等を通じて、自己研鑽に努めるとともに教育事情調査や教育相談等の日常活動に努めています。

〈令和4年度の教育委員・教育長研修等〉

◇奈良県都市教育長協議会

4月20日 (奈良市)

7月25日 (橿原市)

10月19日 (奈良市)

2月28日 (奈良市)

◇市町村教育長・教育委員研究協議会

7月28日 (オンライン)

◇近畿都市教育長協議会定期総会

4月27日 (奈良市)

◇近畿都市教育長協議会研究協議会

10月13日 (奈良市)

◇全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会

5月12・13日 (山口県山口市)

◇近畿市町村教育委員会研修大会

11月1日 (オンライン)

◇奈良県市町村教育委員会連合会会議

5月30日 (大和郡山市)

◇奈良県市町村教育委員会連合会研修大会

11月16日 (宇陀市)

4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

各施策・事業点検評価シートは、「宇陀市教育大綱」に沿って、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果です。

シート中の「達成度」「必要性」「有効性」とは、教育委員会が次の基準により判断したものです。

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| A | 高い | (概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。) |
| B | やや高い | (ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。) |
| C | やや低い | (目標をあまり達成できなかったので、改善を要する。) |
| D | 低い | (目標を達成できなかった。) |

令和5年度（令和4年度施策・実施事業分）一覧

宇陀市教育大綱に基づく主な施策・事業	自己評価			今後の方針
	達成度	必要性	有効性	
1 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう				
1 小中学生基礎学力向上事業	B	A	A	2
2 教職員の研修事業	A	A	A	2
3 就学援助事業（就学援助・特別支援教育修学奨励費支給）	A	A	A	3
4 図書館機能充実事業	A	A	A	2
5 宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業	A	A	A	2
6 外国語活動指導助手設置事業	A	A	A	2
7 小中学校情報機器等の活用	B	A	A	1
8 教育支援センター（はばたき教室）運営事業	A	A	A	1
9 プログラミング教育の導入に伴う調査・研究事業	A	A	A	3
10 新型コロナウイルス感染症対応学校教育活動支援事業	A	A	A	3
11 宇陀市学校適正化推進事業	A	A	A	1
12 図書返却ポスト回収等事業	B	A	A	3
2 家庭の豊かな教育力を育もう				
13 新学校給食センター建設事業	A	A	A	1
14 学校給食管理運営事業	A	A	A	2
15 教育相談事業	A	A	A	1
16 働く子育て世代の図書館利用の充実事業	B	A	A	2
3 地域全体で子どもを見守ろう				
17 子どもフェスタ事業	-	A	A	2
18 青少年健全育成活動	A	A	A	2
19 子ども活動支援事業	A	A	A	2
4 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう				
20 重要伝統的建造物群保存地区保存事業	A	A	A	2
21 通級指導教室運営事業	A	A	A	1
22 市美術展事業	A	A	A	2
23 公民館管理運営事業	A	A	A	2
24 各種講座・教室事業	A	A	A	2
25 社会教育推進講座事業	B	A	A	2
26 宇陀シティマラソン事業	A	A	A	2
27 市民スポーツ大会事業	A	A	A	2
28 近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部	A	A	A	2
29 総合体育館・総合運動場運営事業	B	A	A	1
30 室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	B	A	A	1
31 小学校水泳教室事業	B	A	A	2
32 水泳教室事業	B	A	A	2
33 奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業	B	A	A	2
34 大人のための運動教室事業	A	A	A	2
35 二十歳のつどい事業	A	A	A	2
36 文化財保存修理等補助事業	B	A	A	2
37 葉の館管理運営事業	/	/	/	/
38 埋蔵文化財発掘調査事業	B	A	A	2
39 史跡宇陀松山城跡保存整備事業	A	A	A	2
40 史跡森野旧薬園保護事業	A	A	A	2
41 国指定天然記念物等保護再生事業	B	A	A	2
42 宇陀三城御城印作製	A	A	A	2
43 宇陀市歴史文化館管理運営事業	A	A	A	2
44 寄贈資料の管理運営事業	B	A	B	2

自己評価 「A」高い「B」やや高い「C」やや低い「D」低い「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

今後の方針 「1」さらに重点化する「2」現状のまま継続する「3」見直しの上、継続する「4」事業の縮小・休止を検討する
「5」終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	1
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	小中学生基礎学力向上事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	①学ぶ意欲の向上と家庭学習の習慣化及び教職員の資質・能力の向上
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもの学力や学習状況に関する調査・研究を行うとともに、そこから見える諸課題の改善に向けた事業を行う。また、それら諸課題の改善に向けた取組について、研究校を指定し、その取組を支援するとともに、その成果発表会を行い市内全校への普及を図る。児童生徒の学習意欲、学力、学習習慣の向上を図る。</p> <p>【内容】宇陀市学力・学習状況調査の実施及び結果分析及び宇陀市生活行動・学習活動調査(学習生活アンケート)の実施及び結果分析 市、国の学力・学習状況調査の結果からまとめた「UDAスタンダード」(授業改善・家庭学習の習慣化)の推進及び実践交流 宇陀市研究校を指定し、幼小中の連携を推進</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】授業の項目については年々改善され、UDAスタンダードが定着していると言える。事業を継続して実施する中で、宇陀市の子どもたちに国語科では、「読むこと・書くこと」の領域、短答式で解答する問題、算数科は図形の領域、数学科では数と式、関数、データの活用の領域に毎年正答率が低いことがわかり、課題改善に向けすべての教科指導の中で「自分の考えを書いたり、交流する活動の徹底」を先生方に周知することができた。各学校の研究授業の様子をオンライン配信し、幼小中の連携が図れた。</p> <p>【課題】市・国の学力テストにおいては、全国より低い傾向にあった。効果的な取組を研修会の中で報告をしたが、すべての先生方に周知できておらず、周知方法の検討が必要である。また、オンライン配信について、オンデマンド配信を活用する等、多くの先生方に共有できるようにする。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>子どもたちにとって、「分かる」と「できる」は違う。「分かったから、できるようになった」のか「できるようになったら、分かってきた」のかも場合によって違う。基礎学力の基礎は、読むこと、書くこと、計算することだと考える。基礎学力向上のために、分かる授業を実施するとともに、日々のドリル学習を継続してできるようにすることなども大切だと思う。学力テストの点数に気をとられ過ぎず、少しずつ子どもたちに力を付けてあげていただきたい。</p> <p>昨年に続き、学力テストの平均点が全国平均を下回っている状況を改善するためには、子どもたちに学習習慣の定着、弱点の反復学習であると考え。あまり点数にとらわれずに、以前に出来なかった課題を少しずつ克服できるように指導願いたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>宇陀市の子どもたちの弱点は「自分の意見を表現すること」と「読解力」である。「読解力」の向上に向けては、県の読解力向上プロジェクトと連携し、取組を進めていく。また、「自分の意見を表現すること」については、グラフや文章などの様々な情報を読み取り、自分の意見を表現する時間と表現した自分の思いを交流する時間の確保を、全ての教科にお願いしていく。</p>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	2
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教職員の研修事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	①学ぶ意欲の向上と家庭学習の習慣化及び教職員の資質・能力の向上
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の教育に関わる独自課題、今日的課題の教職員研修を行い、教職員の資質・能力及び指導力の向上を図る。</p> <p>【内容】 宇陀市教育センター研修(7回) 宇陀市初任者研修(2回) 宇陀市特別支援教育コーディネーター研修(3回)</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】研修に参加した教職員の8割程度が「とても参考になった」とアンケートの中で回答していることから、一定の効果があつたものと考えている。また、昨年度の課題としていた「幼小連携」の研修も実施し、互いの学びを知ったり、職員同士のつながりをもったりすることができた。</p> <p>【課題】令和4年度の研修内容をさらに深めていけるようにするとともに、校種間の接続の研修機会を増やしていきたいと考える。また、新型コロナウイルスによる制限も解除されていくので、研修内容を精選しながら教職員の負担にならないよう実施していく。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可					

点検評価支援員の意見	研修によって得たものを、実際の指導に取り入れ、子どもの変容を分析し、さらに工夫、改善し、次の指導に活かす。このPDCAサイクルを繰り返すことで、教職員の指導力は向上していく。子どもとの関わりが、教職員の力を育ててくれる。このことを、初任者研修で是非伝えていただきたい。
	研修を受けた教職員が、研修内容を授業に生かすことはもちろんのことで、考え方が変わったり、時には人生観を変えることもあるかもしれない。特に、内容の充実を図り、子どもたちに実践で応えていただきたい。くれぐれも教職員の負担にならないように事業を進めていただきたい。

今後の取組	働き方改革の趣旨も含めて研修の内容の重点化を図り、オンラインや伝達形式での実施など、教員の働き方改革に配慮して実施していく。また、点検評価員の指摘にあるように、PDCAサイクルに基づく指導力向上や日々の子どもとの関わり的重要性について、初任者研修で伝えていく。	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	3
------	---

事業の情報	事業名	就学援助事業(就学援助・特別支援教育修学奨励費支給)		担当課	教育総務課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	③健やかな心身と安全な生活を保持増進できる子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】経済的な理由等によって就学に必要な費用の支払が困難な保護者に対し、その一部を援助し、義務教育の円滑な実施に資する。</p> <p>【内容】学用品費、給食費、修学旅行費等、就学に必要な費用の支払が困難な保護者に対し、必要な費用を給付する。対象者は宇陀市内の小中学生及び特別支援学級に在籍する小中学生等である。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度の支給者数は小学校90人、中学校59人、特別支援82人であった。また、令和5年度からは特別支援についても領収書なしの定額支給になるように要綱を変更した。</p> <p>【課題】物価の高騰等から保護者の経済的負担は増えつつある。現在の判定基準でいいのか検討する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>必要不可欠な事業であり、予算的措置を講じて継続していかなければならない。昨今の物価上昇は、経済的に苦しい保護者ほど重い負担になっているはずなので、善処が必要である。</p> <p>コロナ禍から物価高騰と保護者の義務教育に対する経済的負担は、全般に増えている。義務教育に必要な経費の支払いが困難な保護者に給付することは必要である。判定基準が経済の動向等により、変化していくことが予想され、的確な基準設定を望む。</p>
------------	---

今後の取組	保護者の経済的負担を減らすために、現在の判定基準を見直し、検討する。	
	方 針	3

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	4
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	図書館機能充実事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	④夢に向かって粘り強く挑戦し続ける子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】市民の皆様には『いつでも、どこでも、誰でも』読書を楽しむことができる生涯学習環境をつくることを目指し、読書活動の推進を行う。</p> <p>【内容】子ども読書活動推進計画の内容を受けて、園所・小中学校等との連携強化を図ることにより、子どもたちに図書館の魅力を発信し、図書館機能の充実を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 (令和4年度の利用状況) 利用人数31,802人 貸出冊数 113,415冊 購入冊数 2,248冊 (電子図書利用状況) ログイン回数2,101人 貸出冊数 1,584冊 購入冊数 139冊 コロナ対策を行いながらお話し会等を実施し、保育や教育現場の中で本の読み聞かせを行い、子ども達に本に親しむ機会を提供することができた。また、小中学校で使用しているタブレットで電子図書を利用していただくために、教育総務課と連携し、専用のIDとパスワードの発行により、朝読等での利用が可能となり、電子図書の利用促進につなげることができた。</p> <p>【課題】全ての市民に身近で親しみやすい図書館としての機能を果たせるよう機能の充実を図るため、関係機関と連携し資料の収集に努める。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>学校との連携は大切にしなければならないが、図書館には、生涯学習施設としての機能も求められる。課題として挙げられているように、すべての市民(宇陀市在住の外国人も含めて)にとって有益な図書館経営を目指していただきたい。</p> <p>生涯学習としての図書館機能の充実が必要であるため、広い年代が利用しやすい環境や外国人向けの図書、電子書籍の充実をお願いしたい。</p>
	<p>幅広い年齢の方々に電子書籍を体験していただく機会や情報提供が行えるよう努める。今後の状況を勘案しながら、市民のニーズに合った図書資料や電子図書の充実ができるよう予算要求を行い、図書館機能サービスの向上を図る。</p>

今後の取組	<p>幅広い年齢の方々に電子書籍を体験していただく機会や情報提供が行えるよう努める。今後の状況を勘案しながら、市民のニーズに合った図書資料や電子図書の充実ができるよう予算要求を行い、図書館機能サービスの向上を図る。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針	2
方針	2		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	5
------	---

事業の情報	事業名	宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業				担当課	中央図書館
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう				
		Ⅲ基本方針	④夢に向かって粘り強く挑戦し続ける子どもの育成				
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の小中学校の児童生徒が、「調べる学習」を通じて学校や図書館の資料を活用し、「自らが考え、判断し、課題を解決する力」を育み、また、活動を通じて「必要な情報を集め、有効に活用する力を養う。</p> <p>【内容】市内の小中学校の児童生徒が、学校・公立図書館の資料や自らが観察、実験するなどして様々な情報を活用し、「調べる学習」を行い、コンクールに応募する。「調べる学習」により主体的に学ぼうとする意欲、知的好奇心を育む。</p>						

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】夏休み期間中に図書館内で、昨年度の入賞作品のレプリカ展示コーナーを設け、調べる学習に役立つ図書の実装を図った。また、募集チラシに全国コンクールの入賞作品が見れる「作品かんたん紹介QR」コードを表示した結果、小学校6校から27作品の応募があり、昨年度の2倍以上の応募となった。力作が多かったため、特別賞の枠を2作品に増やして7作品を表彰し、上位2作品を全国コンクールに出展し、佳作に入賞する。自らの疑問について調べることで、主体的に学び、知的好奇心を育むことにより、目標達成に向け、取り組むことができた。</p> <p>【課題】学校と連携し、学校支援業務を活用して、児童生徒に調べる学習の実施方法のレクチャーを行い、応募につなげる。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>市内すべての小学校から昨年の2倍以上の応募があったことは、レプリカ展示コーナー設置や紹介QRコード表示などの募集時の工夫の賜と評価したい。しかし、令和4年度も中学生からの応募がなかったことが残念である。中学生に興味、関心をもってもらうための取組が必要である。</p> <p>子どもたちの将来にわたって必ず役に立つ、「調査力」、「問題を解決する能力」等を身に付けるために、学習の楽しさを伝える必要がある。広報活動に創意工夫をお願いしたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>主体的に学び問題を解決する力の重要性は、高まってきており、「調べる学習」は、「探究学習」の入り口でもあることから、この事業の必要性を知ってもらえるよう啓発を行う。今後も学校と連携し、入賞作品等の掲示や適切な資料提供が行えるよう工夫し、子どもたちの関心が高まるよう、働きかけていく。</p>	方針	2
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	6
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	外国語活動指導助手設置事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤情報活用能力を備えた国際感覚豊かな子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】ALTとのコミュニケーションを通して、子どもたちの「伝えたい」という意欲を高め、外国語学習意欲への動機付けをし、英語でコミュニケーションを図る能力の土台を育む。</p> <p>【内容】市内全小学校にALT(外国語指導助手)を配置し、外国語活動の授業でクラス担任と連携し、新学習指導要領におけるチームティーチングを行う。</p> <p>小学5、6年生のクラスに対し年間30回、小学3、4年生のクラスに対して年間15回、小学1、2年生のクラスに対し年間10回ALTを派遣した。(外国語活動及び国際理解に関する教育の補助・外国語教材作成の補助) 幼稚園、こども園、保育園、子育て支援センターに年間各10回訪問し、外国語活動を行った。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】幼少期から継続してALTと直接触れ合うことで、外国語で相手の考えや気持ちを聞いて、考え、推測する力や、外国語を使って自分の考えや気持ちを伝えようとする力、学びに向かう態度の育成につながった。また、夏休みに「English Village～英語村で遊ぼう2022～」を開催し、5か国のALTと英語でコミュニケーションをはかりながら、それぞれの文化に触れ、遊びを体験することで外国を身近に感じ、外国語や海外に興味を持つきっかけにつながった。</p> <p>令和3年度に引き続き、小学校外国語科指導者研修を実施し、ALTトレーナーによる模擬授業を教員に体験してもらうなど、教員の指導力向上を図った。</p> <p>【課題】前年度と同様に継続していく。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>ALTの配置、活用については、目的達成に近づいてきている。更なる英語教育の充実を望む。</p> <p>子どもたちは、幼少期から外国人と触れ合うことで、聞く、話すことに馴染み自分の考えを伝えようとする能力が発達する。今後も必要な事業である。ALTには、指導力だけでなく、一緒に遊んでくれる人材を希望する。</p>
------------	--

今後の取組	<p>引き続き、幼小中英語教育の連続性に重点を置き、広く国際的な視野に立って物事を考え、行動できる児童生徒を育成するため、子どもたちが英語に親しみ楽しめる外国語教育の更なる充実を図る。</p>	方針	2
-------	--	----	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	7
------	---

事業の 情報	事業名	小中学校情報機器等の活用				担当課	教育総務課
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう				
		Ⅲ基本方針	⑤情報活用能力を備えた国際感覚豊かな子どもの育成				
事業の 目的・内容	<p>【目的】小中学校の児童生徒への1人1台端末を活用し、変化が激しく予測不可能な社会において、自ら未来をたくましく切り開いていく資質・能力を身に付けさせる主体的・対話的で深い学びの視点にたった学校教育を目指す。</p> <p>【内容】学びの充実を図るため、デジタル教科書・教材の活用を進める。学習の中で課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析推敲しながらの文書作成や、資料、作品の制作を行う。非常時における児童生徒の学びの保障の観点からも、端末を持ち帰り、自宅等での学習においても活用する。</p>						

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】昨年度に引き続き、大型ディスプレイやタブレット端末を利用し、動画や音声等を使用することで、学びの幅を広げ、内容を深めた授業を展開することが出来た。調べ学習や家庭学習の課題等では、自らの疑問について効率的に情報を集め、自分にあった進度で学習することが可能となった。学校ICTの環境面において、全ての学校の普通教室に大型ディスプレイを設置することができた。またインターネット接続の環境が良好でない場所の改善を図った。</p> <p>【課題】ICT機器の活用頻度については、引き続き学校間(教師間)でばらつきがあるため、ICT支援員等の協力を得ながら、活用の平準化を進めていくとともにネットリテラシー教育にも力をいれていく。学校ICT環境においても、今後年次更新計画を作成していく必要がある。</p>					
		達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支援員 の 意見	<p>課題に挙げられている「ネットリテラシー教育」には、ぜひ注力していただきたい。パソコンやスマホを使うことは、人権侵害の被害者や加害者になる危険性が高まるということを、しっかりと指導する必要がある。</p> <p>1人1台の端末を活用することは、多くの情報を得て学びの幅を広げることとなる。しかし、インターネットの情報は、全て正しいとは限らないため、情報の真偽を判断する能力を付けることが、必要になる。</p>
----------------------------	--

今後の 取組	<p>教職員の端末利用のスキルアップを図るために、今後は教育センター事業の中で職員研修を実施していく。基本的な端末操作を身に付けるとともに、情報社会に参画する態度や安全に情報を活用するための知識・技能などを適切に育成する情報モラル教育を教育活動の中で推進していく。</p>	
	方針	1

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	8
担当課	教育総務課

事業の 情報	事業名	教育支援センター(はばたき教室)運営事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑥いじめや不登校等に対する支援の充実		
事業の 目的・内容	<p>【目的】宇陀市内小中学校の不登校児童生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。</p> <p>【内容】個々の状況に応じた適切な指導や相談に応じるとともに、学習機会を確保する。また、子どもの不登校に悩んでいる保護者や教職員に対しての相談業務も行う。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度は当初4名の通室生徒でスタートし、仮入級を経て年度途中で小学生の児童が1名増えた。また、不登校に関する相談や教室の見学等を随時受け入れ、学校と連携しながら対応することができた。</p> <p>【課題】通室しているのは、不登校児童生徒の一部であり、まだ多くの不登校児童生徒がおり、その子どもたちや保護者への適切な働きかけが必要である。また、今後児童生徒が増えることを見越して指導員の充実を図る必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支援員 の 意見	<p>課題の欄に、「まだ多くの不登校児童生徒がおり、…適切な働きかけが必要である。」とあるが、まだ社会の中に、不登校は子どもの甘えだとか、親の育て方が原因だとかのマイナスイメージが残っていて、家庭外に支援を求めにくいと感じている人がいるのではないか。このマイナスイメージを払拭していく方法についても検討していく必要がある。また、不登校になる原因は、多種多様にあり、様々な背景がある。多くの人に相談したり、支援してもらったりすることで少しずつでも改善していくということの啓発についても大切にしていきたい。</p> <p>様々な環境の中で生活している子どもたちを取り残さない重要な事業である。不登校の児童生徒には、学習を習慣づけ、学力の向上が重要と考える。オンライン授業等工夫を凝らして指導していただけるように願います。</p>
----------------------------	--

今後の 取組	<p>学習機会を確保するため、タブレットを使った学習を取り入れ始めたことを定着させる。また、令和5年度よりこども未来課の「こども居場所支援事業」と連携を始めており、はばたき教室への送迎や昼食の提供を受けられるようになり、通室できるようになった児童生徒がいる。今後は一層連携を深め、不登校児童生徒が家の事情等で通室できないということがないように努める。</p>	
	方 針	1

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	9
------	---

事業の情報	事業名	プログラミング教育の導入に伴う調査・研究事業		担当課	教育総務課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】平成29年3月に告示された新学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「プログラミング的思考」を育成する。</p> <p>【内容】教育委員会で整備したプログラミング関連教材の活用を推進する。ICT活用に関する知識と実践力を有し、市をリードしていく教員を育成する。プログラミング教育の指導案などの共有をする。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】本事業で教材を揃え、各小学校での活用を実施している。プログラミング教育について年間計画を作成し、小学校の教育課程に位置付けて実施する体制が整った。</p> <p>各小学校においてプログラミング教育が円滑に導入され、浸透したので、本事業の当初の目的は概ね達成できたと考ええる。</p> <p>【課題】事業については目的を達成したが、引き続きICT活用に向けて、教員の指導力育成を行う。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>この事業では、今後、この整った環境を教員がどう指導に活かしていくかということが大切である。教員の指導力育成は欠かすことができない。今後も継続すべきである。</p> <p>教材を揃え、各学校で活用し実施していることは、事業が達成されたと言えるが、継続して教員の指導力の育成が必要と考ええる。</p>
------------	---

今後の取組	<p>教員の指導力の育成を図るため、センター研修としてプログラミング教育についての研修会を実施していきたい。また、プログラミング教材の貸出についても継続し、活用状況に沿って助言する。</p>	方針	3
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

		事業番号	10
事業の 情報	事業名	新型コロナウイルス感染症対応学校教育活動支援事業	担当課 教育総務課
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実
事業の 目的・内容	<p>【目的】新型コロナウイルス感染防止のための少人数に分けた学習指導や学習の定着が不十分な児童生徒に対し、個別にきめ細やかな学習指導を行うための人員配置及び感染症対策として校舎内の消毒などの業務を支援する人員配置を行うことで教員の負担軽減を図る。</p> <p>【内容】希望のあった6小学校と1中学校に学習支援員を配置するとともに、市内全ての小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置する。</p>		

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】学習指導員を配置した学級の担当教員を対象にしたアンケート調査で、100%の教員が「支援の必要な児童生徒の学習活動が充実した」と回答した。また、スクール・サポート・スタッフを配置した全小中学校の教員の平均在校等時間について、4校で令和2年度より減少させることができた。</p> <p>【課題】学習指導員やスクール・サポート・スタッフについては、コロナに係る臨時交付金を財源としているが、コロナ終息後の財源確保が課題である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支援 員の 意見	<p>成果の内容を見るかぎり、この事業は、「学校教育活動支援事業」として今後も継続していくべき事業である。財源確保が課題ということであるが、宇陀市の総力を結集して、財源を確保していただきたい。</p> <p>全ての教員が「児童生徒の学習活動が充実した」と回答しているように、学校現場では効果があり、教員の負担が軽減されたということであろう。まずは、教員の負担の軽減を重きにおいて、事業の継続を続けることが大切である。</p>
----------------------------	--

今後の 取組	<p>令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上で5類に移行されたことにもない、学校教育活動に関するガイドラインも改訂され、本事業については、今後、事業名の変更も含めた検討が必要である。本事業は、教員の負担軽減と子どもの学習保障の2つの観点から大変有効であったことが、検証結果から証明されていることから、事業継続のための財源及び人員の確保に努めたい。</p>
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	11
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	宇陀市学校適正化推進事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市学校適正化基本方針に基づき、小中学校の適正化を具体的に推進し、子どもたちがたくましく生きる力を育むための教育環境整備に取り組む。</p> <p>【内容】小中学校の適正化を具体的に推進する「宇陀市立学校適正化基本計画」を策定するため、「宇陀市学校適正化推進委員会」を設置し、小中学校の適正化及び教育内容の充実に関することについて2年間(令和4年1月から)かけて審議し、教育委員会に答申する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度は、「宇陀市学校適正化推進委員会」を5回開催した。また、学校づくりに関するアンケート調査を児童生徒・保護者等を対象に実施した。加えて、「宇陀市学校適正化推進委員会」終了後に、委員会の中で議論した内容を示した「宇陀市学校適正化推進委員会だより」を発行し、広く周知した。</p> <p>【課題】「宇陀市学校適正化基本計画」の策定に向け、推進委員会での答申を十分に反映できるように、今後、1年間の限られた期間で推進委員会を円滑に運営していくことである。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	<p>学校適正化については、市内で学ぶ子どもたちが、良い環境で学校生活を過ごし、将来に向けてたくましく生きる力を身に付けられるように議論していただきたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>令和5年12月までに、宇陀市学校適正化推進委員会から答申が出されることになっている。限られた期間ではあるが、今後も、宇陀市立小中学校の適正化の具体的な在り方や適正化により充実を期待する教育内容について、推進委員会の意見を十分に反映できるように、円滑な運営に努めていきたい。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>1</td> </tr> </table>	方針	1
方針	1		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

		事業番号	12			
事業の 情報	事業名	図書返却ポスト回収等事業			担当課	中央図書館
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう			
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実			
事業の 目的・内容	<p>【目的】市民の生涯学習・情報発信の拠点として、資料の収集及び提供に努め、市民サービスの向上を図る。</p> <p>【内容】インターネット及び電話による図書貸出の予約を受け、大字陀・菟田野・室生の公民館への配送サービス(受取場所の設置)及び各地域に設置の返却ポストの回収を行う。また、大字陀図書館や、園所・小中学校等への団体貸出の回送を行う。(回収・回送業務については、シルバー人材センターへの委託により実施)</p>					

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】図書の返却ポスト及び受取場所の設置は、利用者の利便性の向上に必要であり、広報を通じて周知を行った。前年度と比較するとポスト利用と団体貸出冊数は減っているが、公民館での受取利用と園所・小中学校等への団体貸出は増加となった。</p> <p>・令和4年度返却ポスト利用冊数 12,321冊</p> <p>・ // 団体貸出利用冊数 16,366冊(市内学校園所分9,502冊)</p> <p>※前年度 団体貸出利用冊数 16,383冊(市内学校園所分9,158冊)</p> <p>【課題】各学校から団体貸出しの要望が増えてきているが、児童書の数に限りがある為図書館利用者との兼ね合いで貸出冊数や期間についての検討が必要である。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>この事業は、目的、内容ともに、市民の図書館利用の利便性を高める上で、とても良い取組である。今後も、継続されることを望む。課題に、「各学校からの団体貸出しの要望が増えてきているが、…」とあるが、各学校図書館の蔵書不足も原因の一つではないかと危惧している。</p> <p>コロナ渦の中でも図書の貸出が増加していることは、市民のニーズが高いことを示している。図書館司書の努力により、団体への貸し出しも順調である。個人、団体共に利用が多いために、今後は、より一層の蔵書の充実を望みたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>すべての市民に読書の機会の提供ができるよう、図書館事業のPRを広報等で行い、利用促進に努める。市民の読書意欲を高めるために魅力ある蔵書の構築を行い、授業等での団体貸出の活用により、読書活動の推進に努める。今後は、事業名を「読書に親しむ機会の提供事業」に変更する。</p>	方針	3
-------	--	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	13	
事業名	新学校給食センター建設事業	
担当課	学校給食センター	
事業の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう
	Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にする 思いやりの心をもった子どもの育成
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもたちに「安全で安心なおいしい給食」を提供するために、衛生管理の整った施設の確保を目的としている。</p> <p>【内容】既存の学校給食センターは、昭和50年築(47年経過)となって、老朽化が進んでいる。そのため、新しい学校給食センターを建設する。</p>	

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】実施設計完了後の9月15日に新学校給食センター建設工事入札公告を一般競争入札(総合評価落札方式)により実施、11月11日入札執行、11月21日に仮契約、12月議会承認を経て工事請負契約締結を行った。令和5年1月20日の地元説明会(第4回目)を経て工事着手した。また、新センター運営について運営協議会を3回開催し、現在は直営で実施している調理、食器洗浄、施設の清掃及び消毒業務を委託で行う検討結果となった。</p> <p>【課題】建設工事は現場内外の安全第一による作業遂行へ注意喚起が必要である。業務委託への移行に向け、職場配置転換となる職員への丁寧な説明、対応が必要である。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>工事請負契約や地元説明会も無事に終了し、工事に着手することができたのは、長年の取組の成果である。工事も工程通り、順調に進んでいるとのことであるが、地元の信頼を損なわないためにも、安全第一に慎重に進めていく必要がある。</p> <p>計画通りの完成を希望する。調理や洗浄等の委託については、現在の職員さんへの丁寧な説明が必要とされる。安心、安全な宇陀市の美味しい給食を児童生徒の皆さんが待っていることを忘れないで事業の遂行を行っていただきたい。</p>
	<p>新学校給食センター稼働まで、現在の学校給食センターで「安全で安心なおいしい給食」を持続的に提供できるように、職員全員で徹底した衛生管理のもと、施設運営を行っていく。令和5年度は建設工事が6割強の完成予定である。令和6年度の稼働・運営に向けて安全第一に遅延の無いよう事業を進めていく。調理、食器洗浄等の業務委託により、職員へ説明と面談を行っていく。</p>

今後の取組	<p>新学校給食センター稼働まで、現在の学校給食センターで「安全で安心なおいしい給食」を持続的に提供できるように、職員全員で徹底した衛生管理のもと、施設運営を行っていく。令和5年度は建設工事が6割強の完成予定である。令和6年度の稼働・運営に向けて安全第一に遅延の無いよう事業を進めていく。調理、食器洗浄等の業務委託により、職員へ説明と面談を行っていく。</p>
方針	1

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	14
担当課	学校給食センター

事業の 情報	事業名	学校給食管理運営事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にする 思いやりの心をもった子どもの育成		
事業の 目的・内容	<p>【目的】子どもたちに「安全で安心なおいしい給食」を提供することや、学校給食地産地消促進事業として数値目標を掲げ、市の予算措置により賄材料の地産地消を推進する。</p> <p>【内容】国産物資、国内加工、無添加食材を基本として購入する。また、食材の安全性などを図るため、奈良県学校給食会と連携し、積極的に情報収集を行う。また、アレルギー対応については、小中学校及び幼稚園と連携を図りながら保護者が安心できるような対応を心掛ける。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】使用食材の安全衛生管理徹底の方策は、次のとおりである。①食材の産地表示の義務化 ②加工食品は、原材料及び産地の確認 ③学校給食衛生管理基準に基づく食品検査を実施した。アレルギー対応は、献立の成分内容(アレルゲン)の明確化により、アレルギー除去食対応をした。(内容についても、保護者及び学校に情報提供を行う。)</p> <p>地産地消を推進するため、地場産物(市内・県内産)を積極的に購入した。</p> <p>学校給食地産地消率(市内産野菜・きのこ類の重量比率)H27(基準値)10.5%⇒R1に(目標値)20.0%から35.0%に変更 R4(実績値)31.71%</p> <p>【課題】市内生産者による新鮮であり、またオーガニック野菜をはじめとした安全な食材を子どもたちに提供するために、地場産物の収穫時期に合わせた献立立案が必要である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支援 員の 意見	<p>数値目標を設定することは、目的意識を明確にして、賄材料の地産地消を進めることにつながり、とても良い取組である。令和4年度は、コロナ禍のため、給食試食会や出前授業について学校からの要望がなかったということであるが、コロナによる規制の緩和が更に進むと、学校からの要望も出てくると思われるので、対応できるよう準備をしておいていただきたい。</p> <p>引き続き地産地消の比率の向上は、評価されることである。アレルギー対応には、事故のないように県や学校と連携を密にしていきたい。食材の値上がり等に不透明な部分があるが、コロナの収拾後に、試食や施設見学学習も増えることとなり、市民に開かれた美味しい学校給食の提供をお願いしたい。</p>
----------------------------	---

今後の 取組	<p>使用食材、施設等の安全衛生管理を徹底し、学校給食地産地消促進事業を有効活用した地産地消の推進を進め、「安全で安心なおいしい給食」の提供を継続する。アレルギー対応について、「宇陀市学校給食食物アレルギー対応検討委員会」を軸として、園・学校び保護者へ正確な情報提供を行うとともに、個人情報や安全管理に努める。給食試食会、学校への出前授業、センター施設見学などの園・学校の要望に応えていく。</p>	
	方 針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	15
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育相談事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	①親の子育てを支援する相談体制の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内各学校・幼稚園・こども園・保育所の教員、子ども、保護者からの相談に応じ、学校や家庭の枠組みを超えた子どもへの関わりや指導について助言することを通して、課題解消を図ること。</p> <p>【内容】臨床心理士による教育相談であり、必要に応じて子どもの発達検査を行い、保護者にフィードバックし、子どもの個に応じた指導を行っている。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度においては、相談件数290件、発達検査実施件数88件であった。専門の相談員による助言を得ることができたため利用者からの評価が高く、継続して相談を受けるケースが多い。また、就学前の早期の対応により、適切な就学に結びつけることができる。</p> <p>【課題】問題を抱える子どもたちが年々増えてきており、それに伴い相談希望者も増加の一途をたどっている。相談だけではなく発達検査を行っているため、相談員の負担は年々増している。1人の相談員の負担が大きいため、引き続き後継者を探し育成することが必要である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>臨床心理士の確保のためには、心理学教室のある大学との連携を図ることも一つの方法と思われる。</p> <p>相談件数が増えることは、問題点が細分化されているものである。早期に対応し、問題点を解決して、就学に結びつけていただきたい。一人の相談員に負担がかかるため、引き続き相談員の確保に尽力していただきたい。</p>
------------	---

今後の取組	<p>発達相談を伴う教育相談は経験が必要であり、発達検査についても結果の報告書を作成するのは、専門家でないと難しいところがある。引き続き臨床心理士の確保に努め、相談業務を充実できるようにしていく。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>1</td> </tr> </table>	方針	1
方針	1		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	16
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	働く子育て世代の図書館利用の充実事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう
		Ⅲ基本方針	②就学前教育の充実と親の子育てや学びを支える環境づくり
事業の目的・内容	<p>【目的】働く子育て世代と子ども達の図書館利用の充実を図る。</p> <p>【内容】中央図書館大宇陀図書館において試行的に祝日開館を前年度より2日増やして6日間実施する。また、図書館フェスティバルにおいては、絵本作家による「絵本ライブ」を実施し、映画会などの開催により親子が共に過ごせるレクリエーションの場を創出する。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】祝日開館は前年度より2日増やして6日間実施したが、9月以外すべて平日の平均利用者数より少ない結果となった。毎月、館内のお話会と園所等でのお話会を行い、夏休み映画会と絵本ライブもコロナ対策を行いながら実施することができた。</p> <p>【課題】祝日開館は、利用者が少なかったものの利用者のアンケート結果で「今年度の日数で良い」との意見が多く、利用者のニーズとして利便性を考慮し、令和5年度以降については、中央図書館のみ6日間の祝日を「特別開館」という名称で実施する。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>夏休み映画会や絵本ライブの実施など、令和3年度より取組が深化、充実してきている。祝日開館については、利用者が少なくても、職員の負担超過にならないよう工夫し、可能な限り継続していただきたい。祝日開館が定着し、市民に浸透していけば、利用者は増加していくと思われる。</p> <p>働く子育て世代は、時間がとても貴重である。祝日開館は、徐々に浸透していくと考えられる。継続することで、親しみを持っていただき目的を達成できると考える。</p>
------------	--

今後の取組	<p>祝日の「特別開館」については、図書館だよりや広報、自主放送等で周知し、利用促進に努める。今後は、「特別開館」の日に催し等を行い開館日数も含めて利用状況を注視していく。</p>
方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	17
担当課	生涯学習課

事業の 情報	事業名	子どもフェスタ事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑭主体的に地域に参画する子どもの育成		
事業の 目的・内容	<p>【目的】遊び体験を通じて、仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成を図る。</p> <p>【内容】宇陀市総合体育館内及び体育館前敷地を使い、昔ながらの遊び(紙ひこうき、ぞうきんかけ競争、空き缶積み、水てっぼう、しゃぼん玉、紙芝居等)を催し、仲間づくり及び参加者の交流を図る。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】参加者(子ども)への新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、実行委員会で協議した結果、2022年(令和4年)第14回の開催は中止と決定した。(令和2年・令和3年も中止)</p> <p>【課題】新型コロナウイルスと共存していく方針を踏まえ、次回開催に向けて、参加者の安全・安心の確保、内容の精査及び体制を実行委員と共に協議する必要がある。</p>				
		達成度	—	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支援 員の 意見	<p>子どもフェスタは、宇陀市が子どもたちの健全育成のために開催する一大イベントである。多くの市民がボランティアとして集まり、協力し合う場としても有意義である。令和4年度はコロナ感染予防対策として中止となったことは残念である。令和5年度は、コロナ感染の再拡大が心配されるが、予防対策を徹底し、無事、開催されることを望む。</p> <p>令和4年度はコロナ禍の中、中止となったが、市内の子どもたちが開催を楽しみにしている事業であると思われる。幅広い多くの方の意見を尊重し、また、参加者間の交流を図ってコロナ後の新たな開催を希望する。</p>
----------------------------	---

今後の 取組	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止となったが、次年度は子どもたちの笑顔が観れるよう、開催の方向で実行委員会と共に事業を進める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	18
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	青少年健全育成活動			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑤地域のネットワークを活用した見守り体制の強化		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市青少年健全育成協議会及び宇陀市青少年指導員連絡協議会を設置し、青少年の健全な育成のための活動を行う。</p> <p>【内容】青少年の社会参加活動の推進、健全な環境づくりと非行防止活動の推進等に取り組む。(イベント開催協力、街頭啓発活動、県との合同立入調査・巡回啓発指導活動、関係研修会参加等)</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】11月1日に中高生が考えた標語作品を掲載したティッシュを市内5カ所にて配布し、健全育成の啓発活動を実施した。 県及び警察と合同で市内コンビニエンスストア等を巡回し、有害図書の販売指導、青少年の非行・被害防止の協力をお願いした。</p> <p>【課題】青少年の様々な体験活動を通じて、互いを尊重し、次代の担い手として活動できるよう関係機関と連携し、社会参加活動に協力する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>近年の大きな社会問題として、ネット上での誹謗、中傷などの個人攻撃、人権侵害があり、命を失う事例も報道されている。誰もが被害者にも加害者にも成り得る状況は、子どもたちの健全育成にとっても大きな課題である。国の方針として、小学校1年生からタブレットを持つ現状からも、パソコンやスマホを正しく安全に利用する方法についての啓発活動も大切にしていきたい。</p> <p>青少年健全育成は、多くの人たちの協力のもと活動する事業であり、青少年の非行の実態もスマートフォンの普及等により、以前とは形を変えたものになってきている。関係機関と連携し、時代に合う活動を期待する。</p>
------------	---

今後の取組	<p>県・市教育委員会と学校が連携し、一人一台タブレット及びPC・スマートフォンを小学生から使用している状況から正しく使いこなせるよう啓発に努める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	19
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	子ども活動支援事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑰保護者や地域と共にある学校づくりの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】地域社会力を活かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援する。(学校・地域パートナーシップ事業)</p> <p>【内容】子どもたちが安全で安心な学校生活を送れるよう環境を整える。(学習補助、体験学習、登下校の見守り等)</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】小学校6校、中学校4校の宇陀市内全校において、それぞれの学校の特色、地域の実情を活かした取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域学校協働活動事業：登下校安全指導、学校内環境整備(美化活動) ○放課後子ども教室：平和学習、文化体験、工作教室等 ○学習補助(地域未来塾)：ボランティアによる学習支援(放課後、夏休み) <p>【課題】学校内活動において、学校から地域の方とのコミュニケーションを増やし、より一層、地域の方の参加を促す必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	<p>課題に挙げられている「地域の方の参加を促す」ためには、「PTA」、「まちづくり協議会」、「青少年健全育成協議会」、「民生・児童委員」など、地域にある組織、団体とも連携し、地域全体で目的を共有して取り組む必要がある。そのためには教育委員会や学校からの呼びかけが欠かせない。それが、学校・地域パートナーシップのあり方ではないだろうか。</p>
	<p>児童生徒の皆さんには、普段学校で学ぶ以外の新しい発見や体験ができる事業である。多くの分野で活躍されている人を発掘し、専門知識や専門の技術者を参加者に与えていただくことを期待する。</p>

今後の取組	<p>地域にある組織、団体に対して学校の取組に協力してもらえよう働きかけ、学校が地域社会とのコミュニケーションの場となるように努める。各学校の特色を活かし、児童生徒の体験学習に地域ボランティア等の協力を得て、取り組む。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	20
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】平成18年に国から選定された宇陀松山地区の重要伝統的建造物群保存地区について補助事業を行い、歴史的な町なみの景観を維持・向上を図る。</p> <p>【内容】歴史的な町なみの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理とそれ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う。令和3年度より伝建地区の防災計画改定のため耐震対策の調査を行っている。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度は10件(修景1件・修理9件)の改修をした。また、防災計画改定のため松山地区の協力家屋で、耐震対策調査を行っている。</p> <p>【課題】耐震補強工法の検討をする。耐震対策を実施するための支援措置を確立する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>耐震補強工法の調査、検討が進められている。しかし、所有者の個人負担が発生するため、所有者への支援措置の確立に期待したい。</p> <p>重伝建の町並み保存は、補助金を活用しても耐震対策には多額の自己資金が必要なことなど深刻な課題がある。大学との協力は、耐震の方法等に新たな展開が生じることを希望するものである。</p>
------------	--

今後の取組	耐震工法を協議していき、防災計画改定に向けて事業を進めていくとともに補助金制度の活用を協議していく。
	方針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	21
担当課	教育総務課

事業の 情報	事業名	通級指導教室運営事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑨一人一人の違いを尊重するインクルーシブ教育の推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】小中学校の通常学級に在籍しているが、言語障害や学習障害、ADHD等により学習面や生活面で困難のある児童生徒が、自立した学校生活や社会生活を送れるようすることを目的とする。</p> <p>【内容】担任以外の専門指導教員が個に応じた指導を行う。また、保護者、教職員、児童生徒に対しても相談業務を行う。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】榛原小学校に「ほほえみ教室」、榛原中学校に「ひだまり教室」を通級指導教室を設置し、令和4年度は小学生59名、中学生31名が通級による指導を受けた。また、児童生徒の在籍校で通級指導が受けられるよう、各学校を指導員が巡回指導をすることにより保護者の送迎の負担がなくなっている。</p> <p>【課題】年々通級による指導を受ける児童生徒数の増加に伴い、県費の指導教員の増員要望と指導者の専門性の確保が必要である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可</p>					

点検評価 支援員の 意見	<p>発達障害に対する認識が大きく変わりつつある。保護者としても支援を求めやすくなってきて、通級児童生徒が増加してきている。今後もこの傾向は続くと思われるので、指導教員の確保や通級指導教室の増加に更に尽力していただきたい。</p>
	<p>年々増加傾向にある通級指導教室に在籍する児童生徒に対して、指導者の確保が重要である。また、指導者から保護者への説明に関しても、専門性、力量等が問われることとなる。児童生徒が、将来自立できるように的確な指導を願う。</p>

今後の 取組	<p>小学校の通級指導教室は令和5年度より榛原小学校に加えて榛原東小学校にも開室した。今後は、中学校でも榛原中学校に加えてあと一校開室するとともに、小学校でも、もう一校開室を目指して通級指導教室の充実を図っていく。それに伴い指導者の育成を図っていききたい。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>1</td> </tr> </table>	方針
方針	1	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	22
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	市美術展事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】美術を愛する市民の創作活動の成果を発表できる場所を提供し、入賞を目標としてもらい、創作意欲の向上につなげる。</p> <p>【内容】4部門(絵画の部、書芸の部、写真の部、彫塑工芸の部)にて募集した。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】新型コロナウイルス感染防止対策を行い、11月4日～11月7日の4日間、市文化会館で開催し、応募作品数101点、640人の観覧があった。応募作品とは別に、文化会館・公民館活動作品、園児の作品、中学校書道部の作品、図書コンクールの作品を展示し、にぎわいに貢献した。足を運べなかった方のために、自主放送に撮影に来てもらい、うだチャンネル11「ホットニュース」で放送してもらった。</p> <p>【課題】出展数を増やすため、「写真の部」に新たな枠を設けるなど、検討する必要がある。(例:一人1台持っているスマホの写真も出展可能 など。)</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>宇陀チャンドでの放送はとても良い取組だと思う。今後も是非継続していただきたい。「スマホの写真も出展可能にする」ことは良いアイデアだと思う。本事業は、高齢化が進む中、文化芸術活動による生きがいづくりを支援する場としても、重要な役割を果たしている。</p> <p>美術展への作品の応募件数が、固定化に近い数字になっている。多くの市民に関心をもってもらうためにも、新たな枠を設けることは素晴らしい試みであると考えられる。令和5年度は、コロナ禍以前より以上の発展を期待する。</p>
------------	--

今後の取組	<p>市民の文化芸術活動の発展のため、気楽に応募できる枠(フォトコンテスト)を取り入れ、興味をもってもらえるよう努める。今後も自主放送スタジオに協力を得て、啓発活動に努める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	23
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	公民館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市民一人一人が、心豊かに健康で生きがいのある人生を過ごすために、生涯にわたって主体的に学習を継続することが求められていることを踏まえ、生きる喜びを分かち合える生涯学習社会の構築を目指す。また、地域課題や市民のニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、地域に根ざした公民館活動を推進する。</p> <p>【内容】身近な学習や文化活動が、誰でも気軽に活動できるような環境整備に努める。また、文化的活動の機会や地域住民と公民館活動をつなぐ情報提供に努めるとともに、各種団体と協力・連携し地域の教育・文化の振興を図る拠点とする。自主グループの育成を推進し、各分館の施設利用率の増加を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】公民館講座で人気のふるさと歴史講座をうだチャン公民館講座として放映することができた。公民館に来たくても来れない市民のために、今後も続けて実施したい。令和4年度公民館まつりを開催することができた。公民館活動自主グループの日頃の成果発表は、市民に対して広く活動内容をPRすることができ、グループ同士の交流の機会となっているので今後も開催していきたい。</p> <p>【課題】市民がいつでもどこでも誰でも学べる機会と場の提供のため、公民館の必要性は高く、さらなる施設の環境整備に努める。今後も公民館まつりの開催や、うだチャン公民館講座を関係者と連携し実施する。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>「宇陀チャン公民館講座」の放映や「公民館まつり」の開催など、一人一人の市民の事情に配慮して、誰もが参加しやすい公民館運営に取り組んでいることを高く評価したい。</p> <p>コロナ禍から通常の社会に戻る中、公民館事業は更なる発展が期待される。市民の教育力や文化の向上のために講座に工夫を加え、関係者と連携し、学ぶ意欲のある市民の期待に応えていただきたい。</p>
------------	--

今後の取組	<p>令和5年度も公民館まつりを開催予定である。公民館活動自主グループによる活動発表や展示のほかに、書道と絵手紙の公民館活動自主グループによる体験教室や子どもたちが喜ぶポップコーンや綿菓子のふるまいも予定している。外出するのが難しい市民のために、令和5年度も人気のふるさと歴史講座をうだチャン公民館講座として実施する。今後も公民館事業について、学ぶ意欲のある市民の期待に応えていけるよう取り組んでいきたい。</p>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	24
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	各種講座・教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の事業を行い、市民の教養向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【内容】市民のニーズに合った講座の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し初歩から応用までを学習する。「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については、中央公民館・各分館を会場とし、知識の向上、趣味の輪の拡大、健康の保持や生きがいづくりを目指した講座を開設する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】講座参加延べ人数 令和4年度:1203名、令和3年度:1276名、令和2年度:1206名、利用率は4公民館とも概ね順調である。「終活とエンディングノート講座」をあんしんセンター、社会福祉協議会等と共催で実施した。市民からの要望があり、あんしんセンターへ相談したところ、社会福祉協議会も交え調整し、法テラス南和法律事務所から講師として弁護士の派遣をしていただくことができた。</p> <p>【課題】人権講座について、令和4年度においては、人権推進協議会との共催で参加人数を増やすことができたが、今後も関係部局と協力して実施したい。大人が生活していくうえで、人権を深く考える時間はなかなか多く取れない。人権講座を通じて、人権について考え、学ぶ時間を市民に提供していきたい。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>人権講座について人気がなく苦慮しているということであるが、テーマを工夫したり、現地学習なども取り入れたり、広報等に参加者の感想を掲載したりすることで参加意欲が向上するのではないだろうか。</p>
	<p>各種講座が、関係機関と連携し運営されていることは非常に良いことである。講座の開設には、市民のニーズも大きな意味をもつが、社会教育法に基づいた事業であることを基本としていただきたい。</p>

今後の取組	<p>必要課題として実施する人権講座について、参加意欲が向上するようにテーマや内容を工夫し、関係機関と連携をとりながら実施したい。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	25
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	社会教育推進講座事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】社会教育の推進及び公民館と地域のつながりを深めるため、市内各地域のまちづくり協議会が事業を実施し、地域の課題に取り組むとともに、地域の活性化につなげる。</p> <p>【内容】地域の課題を解決するために開催する講座や、研修会等に講師の紹介あるいは講師を派遣し、予算の範囲内において講師派遣の費用を支援する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 令和4年度実績 2団体4事業 延べ人数431名参加。 令和3年度実績 1団体2事業 延べ人数30名参加。 令和2年度実績 2団体2事業 延べ人数47名参加。</p> <p>【課題】 令和4年度は2団体4事業であったが、1事業が宇陀市文化会館でのコンサートを開催したところ参加人数が約380名で、昨年度より延べ人数が大きく増えた。令和5年度も全まちづくり協議会を支援できるよう予算を確保したので、まちづくり協議会の事業再開に向けて支援していく。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>地域の実情が異なるので、安易に比較はできないが、「まちづくり協議会」の取組の地域差が大きいように思われる。コロナの感染予防対策が不要となったときのために、予算確保と同時に、「まちづくり協議会」相互の情報交換や助言などの支援にも、さらに尽力されることを期待する。</p>
	<p>社会教育の推進には、地域との繋がりが重要である。このためまちづくり協議会との連携はとても必要である。市内の22団体のまちづくり協議会には、運営や課題が様々であると考えられる。この協議会が、目的を達するために、的確な支援をお願いしたい。</p>

今後の取組	<p>社会教育推進講座は地域の課題とつながる取組を行える事業と考えている。政策推進課、まちづくりアドバイザーと連携をとり、各まちづくり協議会に的確な支援ができるよう準備したい。</p>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	26
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	宇陀シティマラソン事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の豊かな自然の中で、心身の健康維持を目的とし、「走ろう宇陀!ふれあう心」をスローガンに宇陀シティマラソンを開催し、宇陀市のPRにつなげる。</p> <p>【内容】市役所周辺を会場にファミリー(1km)、2km、3kmの3コースを設定し、市内外から参加者を募って開催する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】実行委員会で協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、規模を縮小(10kmコースなし)して開催することで準備を進め、4年ぶりに開催することができた。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスと共存していく方針を踏まえ、運営体制(ボランティアの確保等)を見据え、安全・安心に開催できるよう実行委員と共に協議をする必要がある。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>3年連続中止の後の開催で、以前のように参加者やボランティアが集まるかという心配もあったが、実行委員会を始め関係者の皆さんの努力や工夫によって、活気あふれる「宇陀シティマラソン」になった。令和4年度の開催要項をモデルとして、今後も末永く継続されることを望む。</p> <p>マラソン大会は、コロナの影響の中1km~3kmに絞って開催された。市外から多くの参加者が見られたため、今後大会を発展させていくためには、特色ある大会運営が望まれる。</p>
------------	---

今後の取組	<p>ボランティアの減少を見込み、当日業務の見直しを行って4年ぶりに開催できた。今後、特色のあるマラソン大会を目指して実行委員会で協議してもらう。</p>	方針	2
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	27
担当課	生涯学習課

事業の 情報	事業名	市民スポーツ大会事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心の健康・体力の増進・競技力の向上を目指し、生涯を通じたスポーツ活動の振興を図る。</p> <p>【内容】市スポーツ協会が中心となり、21種目ある競技ごとにスポーツ大会を開催する。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】スポーツ大会を主催している各競技連盟・協会において、新型コロナウイルス感染対策をしながら、ほぼ予定通りスポーツ大会を開催することができた。 (※バレーボール競技については、医療関係者の選手が多く、大会開催なし) (※ホッケー競技については、休部の旨の連絡があり、大会開催なし)</p> <p>【課題】競技大会に参加してもらえよう、連盟・協会と共に周知する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価 支援員の 意見	<p>数年ぶりに、ほぼ予定通り各種の大会を開催できたことを評価したい。今後も、生涯を通じたスポーツ活動を通して、市民の健康と体力の増進を目指していただきたい。そのためにも、毎年課題に挙げられている周知方法についての検討を着実に進めていく必要がある。</p>
	<p>スポーツ大会については、コロナ禍の中、各競技に知恵を絞って開催されている。各競技のPRには、できれば写真や動画で周知すれば、より関心をもっていただけるのではないかと考える。</p>

今後の 取組	<p>スポーツ大会に関心をもってもらうよう、大会風景等の写真を冊子に掲載し、各競技のPRに努める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	28
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の豊かな自然の中で、起伏のあるロードレースに適した道路を用い、近畿各府県から高等学校自転車競技選手を招き、宇陀市のPRにつなげる。</p> <p>【内容】近隣住民他、各関係機関の協力を得て、宇陀市農林会館をスタート、ゴールとする周回コース(1周6.7km 男子:12周 女子:1周)によりロードレースを開催する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】関係機関の協力のもと、近畿の高等学校から32校、男子119名・女子8名が出場し、無事に開催できた。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスと共存していく方針を踏まえ、選手・関係者、観覧者の安全・安心を確保できる大会とするため、開催に向けて関係機関と共に協議する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>この大会は、もはや恒例行事となってきている。また、年齢、性別を問わず、自転車ツーリングをする人の姿をよく見かけるようになり、その数も確実に増えてきていると感じている。ヘルメット着用や交通ルール遵守を啓発するモデルとしても意義があると思う。</p>
	<p>ロードレースは、市民や近隣の方々の協力があって成功するものである。また、道路状況等の整備も必要である。関係機関との連携のもと、安全で事故のない開催を望む。さらには、市民に自転車に親んでもらえる良い機会であるため、広報活動も重要である。</p>

今後の取組	<p>今後も市民や近隣の方々の協力を得ながら、大会が盛り上がるよう関係機関と連携して開催する。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	29
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	総合体育館・総合運動場運営事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】体育施設の整備充実と健全な管理運営に努め、利用促進を図る。</p> <p>【内容】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用ができるように努める。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館利用者数</td> <td>46,868人</td> <td>29,172人</td> <td>30,657人</td> <td>41,378人</td> <td>135.0%</td> </tr> <tr> <td>運動場利用者数</td> <td>8,668人</td> <td>5,326人</td> <td>7,883人</td> <td>8,256人</td> <td>104.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ワクチン接種会場で格技室・小体育館は、利用制限となった。 また、コロナ禍での開館であったが、前年度と比較して利用者増加となった。令和3年度はコロナ禍で練習試合や大会等の開催がなかったが、令和4年度は緩和されたためと考えられる。</p> <p>体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めた。</p> <p>【課題】施設の長寿命化のための大規模改修に向けた事前調査が必要となる。</p>						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率	体育館利用者数	46,868人	29,172人	30,657人	41,378人	135.0%	運動場利用者数	8,668人	5,326人	7,883人	8,256人	104.8%
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率																	
		体育館利用者数	46,868人	29,172人	30,657人	41,378人	135.0%																	
運動場利用者数	8,668人	5,326人	7,883人	8,256人	104.8%																			
達成度	B	必要性	A	有効性	A																			

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>市民のスポーツとレクリエーションの振興にとどまらず、様々な行事等にも活用されている総合体育館は、宇陀市にとって重要な施設の一つであるので、施設の長寿命化のための大規模改修は必要不可欠である。設計着手に向けて、計画的に事前調査や準備が進められることを望む。また、多額の費用が必要になると予想されるので、市民への説明も丁寧に行っていただきたい。</p>
	<p>総合体育館の利用については、一部ワクチン接種会場として利用されていた。しかし、体育館・運動場共に利用者が増加していることは、多くの人に必要とされている所以である。今後、更なる整備の充実と管理運営を望みたい。</p>

今後の取り組み	施設大規模改修に向けた事前調査を進め、効果的な計画を行う。また、更なる整備の充実と健全な管理運営を行い、利用促進を図る。	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>I</td> </tr> </table>	方針
方針	I	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート			事業番号	30	
事業の 情報	事業名	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業		担当課	総合体育館
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】水泳やテニスを通してスポーツ振興と健康増進を図り、効率的な管理運営と利用者の増加を進める。</p> <p>【内容】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図り、健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用ができるように努める。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール利用者数</td> <td>39,627人</td> <td>22,531人</td> <td>26,353人</td> <td>28,681人</td> <td>108.9%</td> </tr> <tr> <td>テニス利用者数</td> <td>4,251人</td> <td>4,149人</td> <td>4,681人</td> <td>4,650人</td> <td>99.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>コロナ禍での開館であったが、プール利用者は前年度と比較して増加となった。施設・設備の老朽化による細々とした修繕を行いながら、施設整備と効率的な管理により、安全で快適な利用ができるよう努めた。</p> <p>【課題】施設の長寿命化のための大規模改修に向けた事前調査が必要となる。</p>							令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率	プール利用者数	39,627人	22,531人	26,353人	28,681人	108.9%	テニス利用者数	4,251人	4,149人	4,681人	4,650人	99.3%
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率																		
プール利用者数	39,627人	22,531人	26,353人	28,681人	108.9%																				
テニス利用者数	4,251人	4,149人	4,681人	4,650人	99.3%																				
達成度	B	必要性	A	有効性	A																				

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価 支援員の 意見	現在の温水プールには、市内の学校における水泳指導の場としての機能も追加されている。早期の改修が望まれるが、学校教育に支障をきたさない改修工事計画の策定も必要である。
	室内温水プールが前年度より利用者が増加している。この施設は、市内の多くの学校が水泳授業に利用していることもあり、必要不可欠な施設と考える。建設から長い月日が経過していることもあり、適切な修繕、管理が求められる。

今後の 取り組み	施設大規模改修に向けた事前調査を進めているところであるが、室内温水プールは、市内小中学校の水泳授業の場としても大切な施設となっているので、支障をきたさない計画を行う。テニスコートについても、事前調査を進め、改修に向けた計画を行う。また、適切な整備を行うと共に健全な管理運営を行い、利用促進を図る。
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	31
担当課	総合体育館

事業の 情報	事業名	小学校水泳教室事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】水泳技能を学び、水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康づくりの推進を図る。</p> <p>【内容】市内の小学校2、3年生を対象に、水泳を通してスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師によって授業を行う。</p>				

担当課 による 自己 評価	成果・課題	<p>【成果】 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 増減率 水泳教室生徒数 124人 実施せず 実施せず 110人 88.7%</p> <p>コロナ対策として、一教室あたりの人数を少なくするため教室時間数を少なくし、教室数を増やして実施した。</p> <p>【課題】市内の小学校2、3年生338人中、参加者数は110人であった。水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康づくりの推進を図るための事業であるため、更に多くの参加者を募りたい。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支援 員の 意見	<p>感染予防対策に留意しながら、3年ぶりに無事実施できたことを評価したい。子どもたち一人一人には個性があり、すべての子が水泳に興味があるとは限らない。その中で、市内の小学校2、3年生の約3分の1が参加しているのは、決して少なくない参加者数だと考えられる。今後も、同様の取組の継続を期待する。</p> <p>水泳教室は子どもたちの健康と体力づくりに適した事業である。多くの参加者を募るためには、水泳の楽しさを伝えることが必要と考える。募集には、写真やビデオを通して実際の教室の姿を見ていただくのも良いのではないかな。</p>
----------------------------	--

今後 の 取 り 組 み	<p>水に親しみ水泳の楽しさを知ってもらい、健康と体力づくりの推進を図るための重要な事業である。多くの参加者を募るための工夫を行い、継続して進める。</p>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	32
担当課	総合体育館

事業の 情報	事業名	水泳教室事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】ジュニアにおいては、水泳の基礎技能を学び、スポーツの基礎体力をつける。また、成人は水に親しみ、水泳の楽しさを知り、健康増進を図る。</p> <p>【内容】水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から、能力に合わせた技能を習得する。 水泳教室(幼児コース、児童・生徒コース、選手コース、成人コース)</p>				

担当課 による 自己 評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>増減率</td> </tr> <tr> <td>水泳教室生徒数 391人</td> <td>344人</td> <td>318人</td> <td>291人</td> <td>91.5%</td> </tr> </table> <p>コロナ感染対策や水質管理等の衛生面に注意を払いながら実施した。「三重県ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会」等に出場し、優秀な成績を収めており、水泳選手を育てる役割を果たしている。また、成人においては、水に親しみ、水泳の楽しさを知ってもらい、健康づくりに貢献した。</p> <p>【課題】生徒数が年々減少傾向である。</p>					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率	水泳教室生徒数 391人	344人	318人	291人	91.5%
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率										
水泳教室生徒数 391人	344人	318人	291人	91.5%												
達成度	B	必要性	A	有効性	A											

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支 援員 の 意見	<p>1年を通して水泳に親しめる本事業は、老若男女を問わず、市民にとって有益な事業である。しかし、競技者養成のための事業ではない。あくまで水泳の楽しさを知り、健康増進を図るためのものであることを忘れてはならない。</p>
	<p>水泳教室事業の参加者はコロナの影響もあり、減少している。人口減少の状況では、いたしかたないと思われるが、水泳の楽しさをアピールし、広報活動にも変化をもたせて継続していただきたい。</p>

今後 の 取 り 組 み	<p>それぞれの能力に合わせて、健康や体力の増進を図るための有益な事業であり、広報活動を行いながら今後も引き続き推進する。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート			事業番号	33	
事業の 情報	事業名	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業		担当課	総合体育館
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の 目的・内容	<p>【目標】 駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。</p> <p>【内容】 長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図るとともに、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性をつくる。</p> <p>各小学校5・6年生に希望者を募り、駅伝練習を3ヵ月間行った後、「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」に参加する。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】 3月4日の大会に向けて、男子12人、女子9人の参加者で、12月から2月まで毎週末練習を行い、駅伝の部で36チーム中16位、タイムトライアルで男子の部26位、女子の部9位となった。</p> <p>【課題】 市内各小学校から参加してもらうことが必要である。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検 評価 支 援 員 の 意 見	<p>「宇陀市駅伝チャレンジ大会」を実施せず、「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」への参加希望者のための事業内容に変更されたということであるが、学校体育ではなく、社会体育として位置づけられる以上、当然のことである。今後は、希望者募集の方法等を工夫し、宇陀市の子どもたちの活躍の場の一つになることを期待する。</p>
	<p>小学生に駅伝の楽しさを伝え、持久力を強化するための事業であるが、県大会という大きな大会に向けて、自分の力を発揮したいという児童も存在することと考えられる。課題のとおり、多くの小学生に参加していただけるように広報活動に期待する。</p>

今後の 取り 組み	<p>社会体育としての位置づけの元で、多くの参加者を募り、子どもたちの体力、持久力向上と健全育成を図り、県大会に参加する。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	34
担当課	総合体育館

事業の 情報	事業名	大人のための運動教室事業	
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の 目的・内容	<p>【目的】ウェルネスシティ宇陀市構想に基づき、中高年の健康増進、体力維持、疾病予防等を目的とした運動教室を通じて、コミュニケーションを深めながら、心身の健康づくりに寄与する。</p> <p>【内容】室内温水プール及び総合体育館内の施設を利用した継続型の運動教室の開催をする。筋力体力アップ体操・エアロビクス・ピラティス・ヨガ・膝腰改善ウォーキング。</p>		

担当課による 自己評価	成果・課題	【成果】	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率
		筋力体力アップ体操	15人	22人	24人	37人	154.2%
		エアロビクス	24人	14人	19人	23人	121.1%
		ピラティス	25人	19人	29人	39人	134.5%
		ヨガ	57人	57人	63人	66人	104.8%
		膝腰改善ウォーキング	38人	35人	37人	36人	97.3%
		合計	159人	147人	172人	201人	116.9%
		運動を始めたかと思っている人や、運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に開催することで、運動の習慣化につなげていける。					
		【課題】より多くの新規受講生が参加してもらえるような対策が必要である。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価 支援員の 意見	年々参加者が増加している。市民の健康増進に対する意識の高まりが感じられ、本事業の目的が達成されていると評価する。さらに本事業の周知の方法が工夫され、より多くの市民がスポーツライフを楽しむようになることを期待したい。
	各運動教室は増加傾向にあり喜ばしいことである。市民のニーズに応え、運動教室を維持発展させるためにも広報活動が重要であり、また、参加者間の口コミにより新規参加者が増加することを願う。

今後の 取り組み	ウェルネスシティ宇陀市構想を推進するための大切な事業である。より多くの新規参加者を募るために広報活動を行い、継続して進める。
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	35
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	二十歳のつどい事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】二十歳となる方が親や周りの大人達に保護されてきた子ども時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを激励・祝福するために成人式(式典・記念行事)を開催する。</p> <p>【内容】10時～10時30分:式典[開式、国歌斉唱、お祝いの言葉(市長・議長)、来賓紹介、記念品目録贈呈、誓いの言葉]</p> <p>10時30分～11時:記念行事(お笑いライブ<藤崎マーケット>、ビデオレター)※実行委員会主催</p> <p>11時～12時:写真撮影</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度[令和5年1月8日(日)]に新たな名称「宇陀市二十歳のつどい」として文化会館で開催し、新型コロナウイルス感染防止ため、会場前にテントを設置して検温、受付業務を行い、無事開催ができた。</p> <p>写真撮影のスムーズな運営により、時間の短縮に取り組むことができた。</p> <p>対象者260名中、190名(出席率73.1%)の参加があった。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスと共存していく方針を踏まえ、時代にあった開催内容等を実行委員と共に検討する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>一生に一度の式典であるだけでなく、同級生や恩師との再会を喜び合う貴重な事業である。今後も、実行委員会制度を基に、開催を続けていただきたい。令和4年度も例年と同様に対象者の7割強の参加者数であった。決して少なくはないが、3割弱が参加していない(参加できていない)ことも事実である。式典の実施日や案内方法等に更なる工夫が求められる。</p>
	<p>二十歳を祝う形式で例年開催されており、実行委員会形式での開催は、対象者が主役である事を示すもので喜ばしいことである。コロナ禍の中での開催ということもあり、苦慮されたこともあるかと思われるが、宇陀市で住んでいて良かったと感じてもらえることがあれば更に素晴らしいことである。</p>

今後の取組	<p>二十歳の方を対象に開催日を祝日(成人の日)の前日に変更し、次の日が休日となる為、参加者の増加を願っている。実行委員の方に友達同士で連絡をとりあい、当日の参加を呼びかけてもらう。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	36	
事業名	文化財保存修理等補助事業	
担当課	文化財課	
事業の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進
事業の 目的・内容	<p>【目的】補助金制度を活用して国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)に対し所有者(個人・自治会等)の経費の負担を軽減する。また、指定民俗文化財を維持伝承していくため、後継者を育成するための経費の負担軽減を図る。</p> <p>【内容】指定文化財の所有者が行う防災設備点検、建造物等の保存修理、防災設備設置・環境整備(庭木剪定等)に対して補助金を交付する。また、指定民俗文化財伝承や後継者育成経費等、文化財保護に対して補助金を交付する。</p>	

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度は、保存修理2件、環境整備2件、民俗文化財伝承2件、防火設備点検12件であった。</p> <p>【課題】補助金制度を文化財所有者(自治会等)に引き継いでもらう必要がある。また、指定民俗文化財の伝承については一部の地域で子どもたちが参加しているが、コロナ禍の影響を受けて形式的な神事のみ実施され、実際には行われていたのが現実である。今後さらに後継者を確保していくのが難しい。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>長引くコロナ禍のため、各地域で行われてきた伝統的な行事の中止が続いている。本来なら、先輩から後輩へと引き継がれていく伝統行事の意味や準備、進行の仕方などが、引き継がれていない状態になり、民俗文化の伝承は危機的な状況に立たされている。地域間の情報交換を密にするなどの工夫が必要と思われる。</p> <p>重要な事業であるが、補助金制度や後継者不足は大きな課題である。自治会やまちづくり協議会などとも連携し、多くの人に知っていただきながら共に解決策を見いだせないものかと考える。</p>
------------	--

今後の取組	<p>補助金制度の活用により、文化財の修復を図っていく。民俗伝承をアーカイブ事業で動画に残したり、また、氏子以外にも協力を呼びかけ事業継続する団体もあり、補助事業で支援していく。</p>	方針	2
-------	---	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	37
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	薬の館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	歴史文化館管理運営事業に移行 【目的】 【内容】				

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】					
		【課題】					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
 「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	
------------	--

今後の取組	
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	38					
事業名	埋蔵文化財発掘調査事業					
担当課	文化財課					
事業の 情報	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう			
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進			
	事業の 目的・内容	<p>【目的】市内の埋蔵文化財の保存及び記録し、保護対策を講じる。</p> <p>【内容】市内遺跡の発掘調査、個人の開発に先立つ事前の発掘調査、遺跡保存を目的とした範囲確認調査、発掘調査後の成果整理、市内遺跡の分布調査、出土遺物の保存処理、公共工事に伴う事前発掘調査等を実施する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和2年度まで発掘調査を行った不動塚古墳(宇陀市菟田野稲戸地内)から出土した遺物の保存整理業務を令和6年度まで委託して行う。また、令和4年度は、「壬申の乱」や「澤氏」を題材に遺物展示を行った。</p> <p>【課題】不動塚古墳の出土遺物を整理中だが、中間報告を検討していく。次年度においても企画展を検討していく。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>「壬申の乱」や「澤氏」を題材に遺物展示を行うなど新しい取組が見られる。可能な限り早く人的体制を整え、発掘調査、保存対策に取り組めるようになることを期待する。</p>
	<p>埋蔵文化財の発掘には、時間的、人的に多くが必要である。発掘した遺物は、保存、公開が必要である。公開の方法は、現地に行けない人のために、パソコンやスマートフォンで見ることができるとは、新たに考古学に興味を持ってもらうためにも有効である。発掘した出土品の保存場所の課題がある。</p>

今後の取組	<p>不動塚古墳の遺物整理を進めていく。宇陀の歴史を広く知ってもらうため歴史文化講演会を開催していく。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	39
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】公有地化を行った範囲を中心に城跡を整備していく。保存整備委員会で整備方針を協議し、市の活性化の一助となるよう事業を進めていく。</p> <p>【内容】災害復旧工事を進めていく。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】史跡の用地交渉にまとまりつつある。令和5年度に売買契約、災害復旧工事ができるよう土地所有者と調整を図っている。</p> <p>【課題】災害復旧工事への着手は、土地売買契約、所有権移転が完了した後となる。史跡地内での工事であるため、遺構により工事に影響がでることが考えられる。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>用地交渉がまとまりつつあるということは、本事業の進展にとってたいへん喜ばしいことである。担当者の努力の賜と評価したい。復旧工事への着手に向けて、一つ一つの課題を克服し、本事業を遂行されることを望む。</p>
	<p>懸案の用地に目途がつき事業の進捗が望めるようになった。文化庁の指導のもと、国庫補助金を有効に活用して、事業を進めて欲しい。</p>

今後の取組	用地取得箇所も含め、まずは災害復旧事業を進めていく。	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	40
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	史跡森野旧薬園保護事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】大正15年国史跡に指定された日本最古の私設薬園である。この史跡を良好な状態で維持し、次の世代へ継承していく。</p> <p>【内容】これまで、史跡内の建造物である桃岳庵(トウガクアン)、賽郭祠堂(サイカクジドウ)を改修するとともに獣害防止柵を設置する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】令和3年度からの繰越事業で賽郭祠堂の改修を行った。				
		【課題】薬園の維持及びは、活用計画に基づき実施していくが、まず所有者と今後の整備方針を協議し、保存整備委員会に諮る必要がある。				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>予定通り、桃岳庵、賽郭祠堂が改修され、事業が一步前進したことを評価したい。日本最古の私設薬園という歴史的価値の高い史跡なので、今後、所有者との協議が順調に進み、整備、保護されることを期待したい。</p>
	<p>日本最古の私設薬園である史跡を後世に継承していかなければならないが、維持管理等については、所有者との協議、さらに保存整備委員会に諮り現状維持できるようにお願いしたい。</p>

今後の取組	今後の整備について所有者の意向を確認し、保存活用計画に基づき整備していく。		
	方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	41
事業名	国指定天然記念物等保護再生事業
担当課	文化財課
事業の位置付け	Ⅱ基本目標 ④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針 ②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進
事業の目的・内容	【目的】市内の存在する国指定の天然記念物(スズラン・オオサンショウウオ・カザグルマ等)を保護し再生を図る。 【内容】向淵スズラン群は、環境の変化により衰退傾向にあり、環境調査を行う。オオサンショウウオは、日本固有種の保護が急務であり、交雑個体の緊急調査を実施する。カザグルマは、生育環境の改善を図り保全対策を行う。

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】スズランは、分布調査・生育調査を行い「タヌキヤブ地区」において開花株数が増加したが「オクシバ地区」は開花しなかった。カザグルマは、令和3年度に高木伐採等を行い、日照環境を確保するとともに令和4年度において林床環境を整備したが開花数は減少した。オオサンショウウオは、82個体を捕獲し、うち新規個体14個体の遺伝子鑑定を行い4個体に交雑判定がでた。 【課題】交雑種の生息範囲を下流の河川から上流に遡上することを防ぐ必要がある。				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	スズランの生育調査、オオサンショウウオの交雑種の拡散防止のための取組、カザグルマの生育環境の改善等を着実に進めている。ただ、調査の結果は、オオサンショウウオの交雑種が年々増えていることを示している。交雑種の駆除ができないのであれば、固有のオオサンショウウオの保護の仕方についても更に検討する必要があるのではないか。 市内に存在する国指定の天然記念物については、気候変動等の環境の変化により保全や保護の方法が変化することが考えられる。関係機関と連携して環境に適した方法で保全対策をお願いしたい。
------------	---

今後の取組	スズラン・カザグルマについては、継続して生育環境の改善を図っていく。オオサンショウウオについては環境調査を継続するとともに、交雑種の拡散を防止するため河川関連部署と協議していく。
方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	42
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	宇陀三城御城印作製			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀三城(宇陀松山城・芳野城・澤城)を御城印でPRし、宇陀市を訪れ、市のことを知ってもらう。</p> <p>【内容】発売場所は、宇陀松山城(秋山城)御城印は、宇陀市松山地区まちかどラボ、芳野城御城印は奈良カエデの郷ひららと菟田野アグリマートに販売委託、澤城は旧旅籠あぶらやにて1枚300円で発売。また宇陀紙を使った特別御城印は1枚500円で発売。御城印帳は1冊1,500円。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年6月より御城印を販売し、御城印4,151部、御城印帳121部を販売した。</p> <p>【課題】令和4年度と同じものだけでなく、新たなデザインや期間限定版など工夫を凝らしてPRしていく必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>宇陀市をPRする方法として、御城印や御城印帳を制作販売し、着実に成果をあげている。歴史ファンにとってうれしい取組であり、宇陀市の認知度アップにもつながると思われるので、今後も継続していただきたい。</p>
	<p>多くの人々に宇陀市を広く周知してもらうためにも素晴らしい取組だと思われる。今後も工夫して継続していただきたい。</p>

今後の取組	御城印で宇陀市をPRしていくため、期間限定版や宇陀紙で作った御城印を発売していく。	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	43	
事業名	宇陀市歴史文化館管理運営事業	
担当課	文化財課	
教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進
事業の目的・内容	<p>【目的】薬の館は、江戸末期の建造物で、来訪者に伝統的建造物に対する理解を深めてもらい、旧旅籠あぶらやは、伊勢本街道と伊勢街道の分岐点札ノ辻に位置し、旅籠を営んでいたが前身は油業でありこの施設の歴史・文化を知ってもらう。</p> <p>【内容】両施設とも市指定文化財で一般公開する。薬の館は、薬関連の資料をはじめ、薬問屋であった細川家の内部を展示している。令和4年度は展示物である「鍾馗像」のポストカードを作り、来館者に配布し施設のPRを行った。また、旧旅籠あぶらやでは、令和4年度から澤城の御城印販売を開始、さらに来場記念として御宿場印を配布している。</p>	

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】薬の館は、コロナ禍による規制緩和や鍾馗像のポストカードの影響もあり、入館者数は2,277人と昨年度比28%の増となった。また、旧旅籠あぶらやは、澤城の御城印と、御宿場印の配布により入館者数は1,378人で昨年度比96%増となった。</p> <p>【課題】薬の館は、建物の経年劣化により雨漏りする館内の屋根の一部を修繕したが他にも館内の修繕箇所が増えてきている。旧旅籠あぶらやについては、入館者の増加を図るための対策を講じる。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>様々な工夫により、「薬の館」も「あぶらや」も入館者が大幅に増えていることを評価したい。「あぶらや」に駐車場があれば入館者はさらに増えると予想されるが、「あぶらや」付近の環境を考えると、新たに駐車場を設営することは困難である。リーフレットに「あぶらや」近辺の史跡や駐車場の絵図を付けるなど、PR方法を工夫したい。</p>
	<p>市指定文化財の施設は、歴史や文化を広める大切な文化財である。経年劣化を防ぐために創意工夫をほどこし、修繕の必要がある場合は、速やかに対応していただきたい。</p>

今後の取組	<p>薬の館、あぶらやとも市指定文化財であり、修繕必要のある箇所は速やかに対処していく。また、両施設とも入館者が増えるよう今後のPR方法を協議していく。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方</td> <td>針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方	針
方	針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和5年度(令和4年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	44
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	寄贈資料の管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	③宇陀のよさを次代へ継承、発展させる教育の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】図書館の貴重資料の閲覧を通じて玩槭文庫の魅力を紹介する。</p> <p>【内容】宇陀市に寄贈された約1万冊の貴重資料を宇陀市立図書館の蔵書として登録し、奈良カエデの郷ひららに玩槭(がしゆく)文庫として開室する。また、玩槭文庫の管理運営を、奈良カエデの郷ひららに委託することにより、市民はもとより、ひらら来場者に対しても広く周知し閲覧いただく。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】玩槭文庫の資料を広く閲覧いただくため、中央図書館と大宇陀図書館に玩槭文庫のコーナーを設置し、年に数回資料の入れ替えを行う。また、紅葉の時期に特設コーナーを設けPRを行い、市民の方に文庫の魅力を伝えることができた。</p> <p>【課題】カエデが美しい時期に合わせて市の広報で周知し、館内の特設コーナーでも玩槭文庫の魅力を発信するが、すべて貸出ができない本である為、来館につながらない部分もあるので、今後検討が必要である。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>宇陀市の広報での紹介や特設コーナーでのPRなど、周知が進んでいる。令和4年度からの検討課題だった自主放送の活用は、著作権の関係で実現していないそうであるが、玩槭文庫の存在を知らない市民も多いので、著作権に触れない形の放送の仕方について検討できないのだろうか。放送による周知効果は高いので、ぜひ検討していただきたい。</p> <p>寄贈図書の利用については、著作権の問題もあり、PRも限られる面があるが、「カエデ」だけでなく、料理写真や陶芸についても奈良カエデの郷ひららとも話し合い、来館者に足を運んでいただく工夫をお願いしたい。</p>
	<p>今後も図書館内での特設コーナーを継続しながらPRするとともに、管理運営を委託している奈良カエデの郷ひららと連携して市民の方に興味をもってもらえるような周知方法を検討し、来館につなげられるよう働きかけていく。</p>

今後の取組	<p>方 針</p> <p>2</p>
-------	---------------------

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

5 まとめ

宇陀市では、平成 28 年 3 月に宇陀市教育大綱を策定してから一定期間が経ち、その成果と課題を踏まえ、新たな宇陀市教育大綱を策定することになりました。この間、少子高齢化やグローバル化、高度情報化が一層加速するとともに、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大という未曾有の出来事が社会を震撼させています。このような複雑で予測困難な社会の中で、主体的にたくましく生きる力を育むために必要な教育の実現を目指して、宇陀市総合教育会議において協議を重ね、教育大綱をまとめました。

令和 4 年度は新たな教育大綱に沿って事業を実施して、2 年目になります。めまぐるしく変化する社会にあっても、他者と協働しながら柔軟に対応できる人材の育成を目指し、ここに令和 4 年度の本市の教育施策を振り返り、次年度の施策に反映してまいりたいと考えています。

今後も、宇陀市の自然豊かな環境の中で、子どもたち一人一人が、自由に「夢」を描き、自己の可能性を追求し、地域社会の一員としてお互いを尊重しあえる豊かな人づくりへ施策を展開していく所存です。

【参考】

4つの基本目標

- ・ 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう ～学校でのひとづくり～
- ・ 地域全体で子どもを見守ろう ～地域でのひとづくり～
- ・ 家庭の豊かな教育力を育もう ～家庭教育でのひとづくり～
- ・ 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう ～つながりづくり・生きがいづくり～